

目次

・ヒロシマ 平和の灯のつどい (報告)1
・旧ソ連核実験のヒバクについて (報告)2
・デートDVセミナー (報告)3
・WENETよりおしらせ4

ヒロシマ 平和の灯のつどい



～今年で11回目の開催となりました～

2009年7月31日(金)、広島市女性団体連絡会議(ひろしまWENET)主催で、第11回目の「ヒロシマ平和の灯のつどい」を開催しました。

最初は、旧ソ連の政府による第1回核実験から60年の節目にあたり、カザフスタンからの留学生アケルケ・スルタノワさんから旧ソ連核実験でのヒバクシャについての話を約100人が聞きながら夕暮れになるのを待ちました。

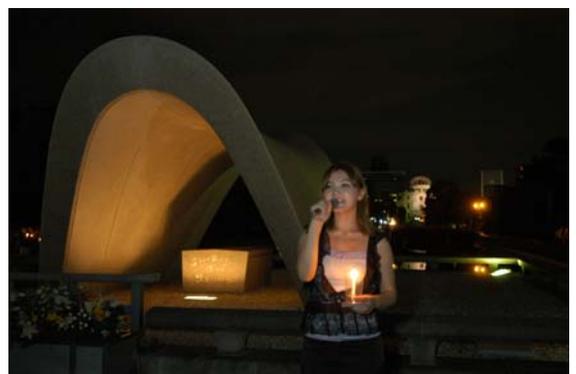
その後、平和公園を散歩していた外国の家族・観光に来られた人が飛び入りで参加され、慰霊碑の前には、200人を超える参加者がありました。豊田麻子広島市副市長からスピーチをいただき、採火は、リヤリヤさん・マリカさん・日本の高校生2人が行い、キャンドルに灯をともし、厳かに平和を祈り巡礼しました。

旧ソ連のヒバクについて

アケルケ・スルタノワさんは、2000年から約1年間、高校生として広島に留学していました。現在、大学院生で、再留学されています。今回、カザフスタンの核被害と核実験場（ポリゴン）閉鎖、反核運動、ヒバクシャの思い、アケルケさんの抱負等をインタビューしました。

アケルケ・スルタノワさんは、10年前も「ザマナイ」（注）の歌を平和公園で歌っておられ、この歌が全世界に広がり、「核のない世界実現」になっていくように祈ってますとのことでした。

この歌は、89年の地下核実験で放射能漏れ事故が起きたことをきっかけに、詩人で人民代議員だったオルジャス・スレイメノフさんが呼びかけて始まった核実験場閉鎖運動と共に生まれました。ポリゴンでの実験停止を訴えて、200万人もの人が参加して、核実験を中止させました。91年に、実験場が廃止になりました。正式な廃止は、いまのカザフスタン大統領のナザルバエフ氏が決定しましたが、そのきっかけとなった重要な市民運動です。その時、よく「ザマナイ」という歌を歌って、結束を固めた、市民運動のテーマソングだったのです。



注：国民的歌手ローザ・リムバエフによって歌われたカザフスタン被曝者のための鎮魂歌。1989年に旧ソ連の核実験場閉鎖の実現した市民運動・ネバダ・セミパラチンスク運動の拡大に大きな力となった。この歌をシンボルに閉鎖運動が盛り上がっていった。元歌はカザフ語で歌われている。訳詞は直訳ではなく意識されている。

ザマナイ（時代、その時） 作詞：U.Esdauletov 作曲：T.Muhamedjanov

共訳詞：小島 知恵子 アケルケ・スルタノワ

1、愛しき 我が子は何処（どこ）に 優しき 乙女は何処（どこ）へ

優しき 失う ザマナイ（その時）、ザマナイ、ザマナイ

清き命は 消えた

* 還らないあの大地 繰り返す悪魔の雄叫び 爆風 炎と閃光

2、誇りも 傷つけ 失くし 今なお 報えぬ 罪に

ふるさと 奪われ ザマナイ ザマナイ ザマナイ

聖なる 我が地は どこへ

* 還らないあの大地 繰り返す悪魔の雄叫び 爆風 炎と閃光

3、どうして 毒悪 流し どうして 誰もを 引き裂く

ふるさと 苦しめ ザマナイ ザマナイ ザマナイ

落ちるは 地の果て 死の海

* 還らないあの大地 繰り返す悪魔の雄叫び 爆風 炎と閃光

* 還らないあの大地 繰り返す悪魔の雄叫び 爆風 炎と閃光

デートDV防止セミナーを終えて

平成21年(2009年)8月19日(水)広島市女性教育センターにて、デートDV防止セミナー「若者が会えるDVや望まない性的経験」を開催しました。

講師は北仲千里氏にお願いしました。北仲先生は広島大学准教授ならびに広島大学相談室相談員、そしてNPO法人「フェミニストサポートセンター・東海」の理事として、活動の中でこうした問題にとりくんでおられます。また、広島市男女共同参画審議会の委員もされています。セミナーの参加者は35名でした、高校の先生や地域で民生委員・保護司をされている方などの参加があり熱心にメモを取りながら聞いておられました。参加者からの感想を2例ご紹介します。



・ 暗いテーマなので参加をためらったが、お話を聞いてよかったと思います。北仲先生の口調や態度が暗く、重くなくて、救われた思いです。男性が「力が強い」というだけで弱者を支配することを許してはならないと思います。男性本人にDVを自覚させるには、どのようにすればよいか課題かと思います。

・ 具体的な例をあげてのお話は身近に感じられよくわかりました。でもDVはとっても難しい問題ですね、相談されても踏み込んでアドバイスすることは難しいです。

WENETではDVについての講演会を数年前から続けてまいりました。そして若い時からDVについて



の知識を身につけることが防止に繋がるとの思いから、2年前高校3年生を対象に「デートDV防止セミナー」を学校の授業の一環として行いました。その時の学生からのアンケートでは、『DVについて理解できた』とほとんどの学生が答えています。『すでにデートDVの被害を受けている』と答えた学生もいました。

このような授業が各学校で行われるようになることを願いつつWENETではこれからも「デートDV防止セミナー」に取り組んでまいります。(報告：啓発部)

☆ 平成21年度新規加入団体紹介 広島県母親連絡会

広島県母親連絡会は、「生命(いのち)を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」というスローガンを中心に、年間を通じて広島県内の女性たちと交流し学習して、要求の実現に取り組んでいます。県大会では、「男女共同参画社会の実現をめざして」十余りの分科会をもち、全体会を行っています。

団体が加入しての連絡会組織ですが、会員数はトータルで3500人余です。

具体的な活動としては、①年1回広島県母親大会を開催する ②日本母親大会実行委員会(東京)に毎月1回参加する ③広島県母親大会でまとめた要望について、行政当局と話し合いの場を持つ ④12月8日、県内各地で「核も基地もいらない平和を求める女性のつどい」を開催し、早朝、昼、夕方、駅頭や繁華街で「赤紙」を配布する ⑤3月8日、広島市と共催の国際女性デー記念集会実行委員会に参加する ⑥毎月「広島県母親ニュース」発行し、情報交換と親睦に役立てる ⑦連絡会加盟団体等と学習・交流・諸活動をすすめる等々です。

☆ 新任会長挨拶

この度、2年間の会長を引き受けることになりました。

1995年（平成7年）の本会成立から、本年は、14年目となります。10周年の記念誌に「切り開く10年から、定着・発展の10年へ」と示されております。2002年（平成14年）に「日本女性会議ひろしま」開催を目指し、検討委員会を立ち上げてから2007年（平成19年）の開催までの5年間、中核的な役割を荷い続けました。真の平和の発信と、男女共同参画推進を大きな基幹に大会を成功に導くため、一人一人の力を結実させたことは、本会の発展と、皆様方、各々が大きな成果を得られたことと思います。



本年度は、「ヒロシマ平和の灯のつどい」（7月）・「講演会：デートDV 予防セミナー」（8月）を開催しました。今後の宿題として、「日本女性会議ひろしま」のその後を一つ一つ検証していくことが、求められていると痛感いたしております。加入団体の増加に努力することと併せて、戦後64年の今、この「戦後」という言葉が最後の「戦後」となるべく、世界平和の追求と人間は皆同じとしての立場からの男女共同参画推進のための提言を成してゆきたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

広島市女性団体連絡会議 会長 西田志都枝

☆ 平成21年度 広島市女性団体連絡会議 役員紹介

	団 体 名	氏 名
会 長	広島市地域女性団体連絡協議会	西田 志都枝
副会長	広島市女性教育センター女性団体・グループ連絡会	信政 ちえ子
副会長	(社)日本助産師会広島県支部広島市助産師会	有地 美奈子
書 記	I女性会議広島支部	貴田 月美
書 記	広島市未来を考える女性の会	藤永 雅子
会 計	安芸コスモスソントクラブ	小島 知恵子
会 計	(社)広島県看護協会	沼田 郁子
監 事	(財)広島市母子寡婦福祉連合会	進藤 功子
監 事	特定非営利活動法人ひろしま女性NPO センター未来-	中嶋 典子
啓発部長	アルコ・デ・ヒロシマ	山本 紀子
学習部長	(財)広島市母子寡婦福祉連合会	柳田 裕美
広報部長	2000+7 平和	吉光 成美

編集後記

「日本女性会議ひろしま」が開催され、早2年経過しました。新会長の挨拶にもありましたが、その後の活動等を振り返り、ネットワークを育み、平和で豊かに生き生きと暮らせるまちづくりを目指したいですね。

WNETニュース第28号 平成21年11月30日

発行者 広島市女性団体連絡会議 (広島市市民局人権啓発部男女共同参画課気付)

責任者 西田 志都枝